

2024年3月11日

日本機械学会 計算力学部門
「設計と運用に活かすデータ同化研究会」
第4回研究会 報告書

大林 茂（東北大学 流体科学研究所）

日時：2024年2月22日（木） 13:30～17:00

場所：【対面】名古屋大学 宇宙地球環境研究所 共同館II 3階ホール
【オンライン】Zoom

参加人数：102名（Zoom画面にて確認，うち対面15名）

プログラム：

13:30～13:40 研究会概要

主査 大林茂

13:40～14:20 船舶CFDにおけるデータ同化の必要性とそのプロトタイプ開発

坂本信晶先生（海上技術安全研究所）

14:20～15:00 データ同化を活用したJFEエンジニアリングの取り組み

功刀亮先生（JFEエンジニアリング）

15:00～15:20 休憩

15:20～16:00 大学におけるデジタルツインの研究と将来構想

松尾裕一先生（東京理科大学）

16:00～16:40 解釈可能機械学習を用いた非晶質固体系における構造抽出手法の開拓

川崎猛史先生（名古屋大学）

16:40～17:00 全体討議および研究会の活動方針に関する議論

幹事 菊地亮太・焼野藍子・三坂孝志

研究会概要：

坂本先生からは船舶のCFDとデータ同化による乱流モデルの改善に関してご講演を頂いた。功刀先生からはプラント運用における予測モデルとデータ同化についてご講演頂いた。松尾先生からはデジタルツインの由来から人材教育まで幅広くご紹介頂いた。川崎先生には分類の根拠が与えられる機械学習手法による構造抽出に関するお話を頂いた。全体的に現地参加者に加えて、オンライン参加者からも多くのご質問を頂き、活発な議論が行われた。

研究会の様様：

